作成部局課室名	総務部広報広聴課

第４回県民モニターアンケート「防災に対する意識と取り組み」の調査結果

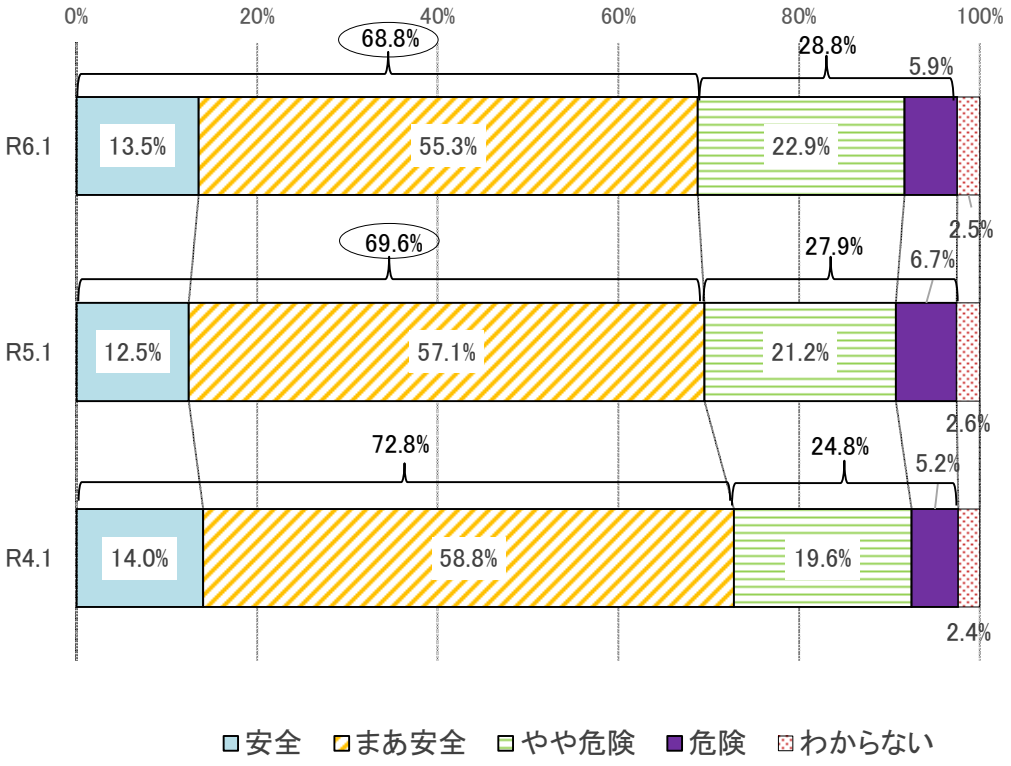
第４回県民モニターアンケート調査「防災に対する意識と取り組み」の調査結果をとりまとめました。アンケート結果は、今後のさらなる防災・減災対策に活用します。

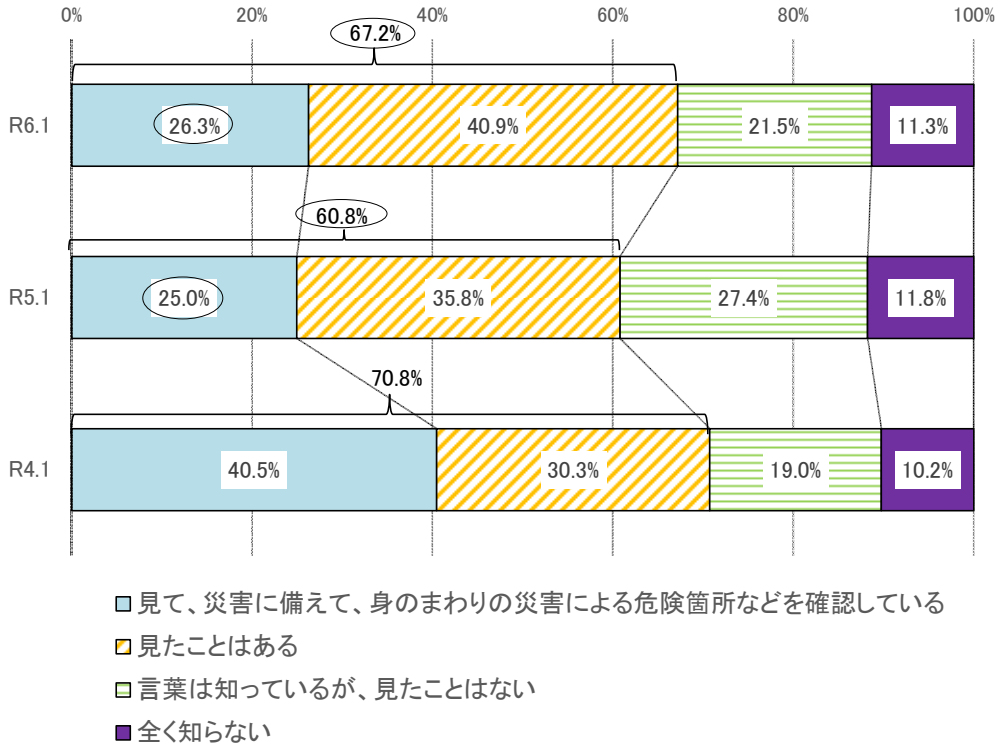
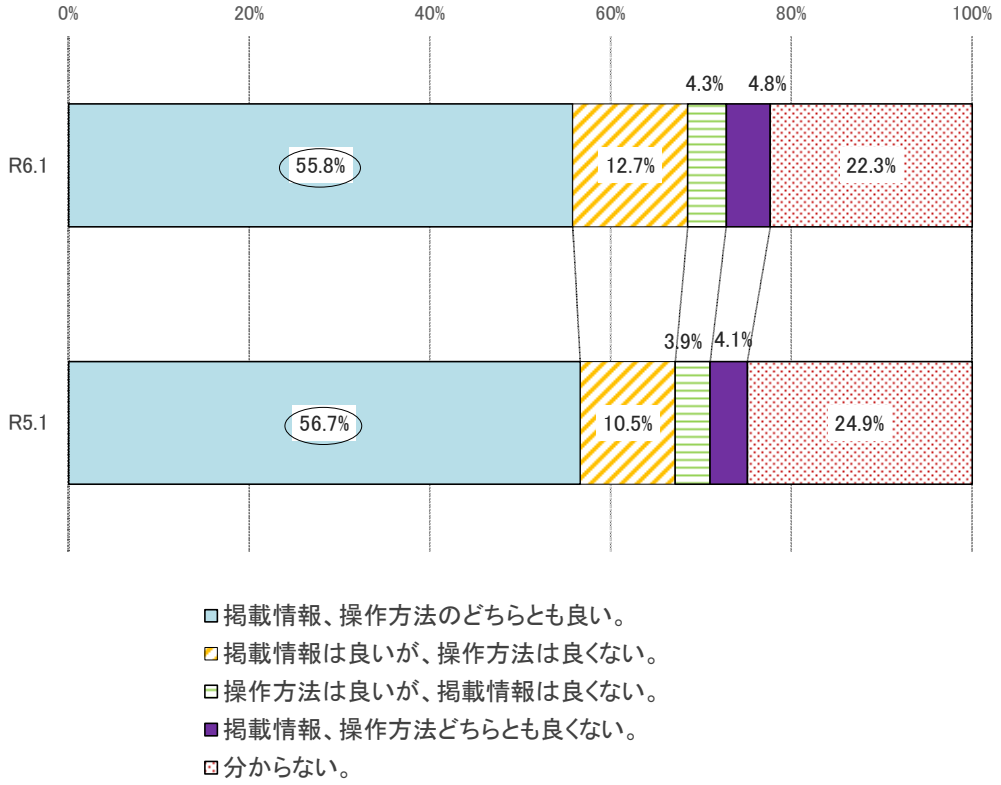
１　調査概要

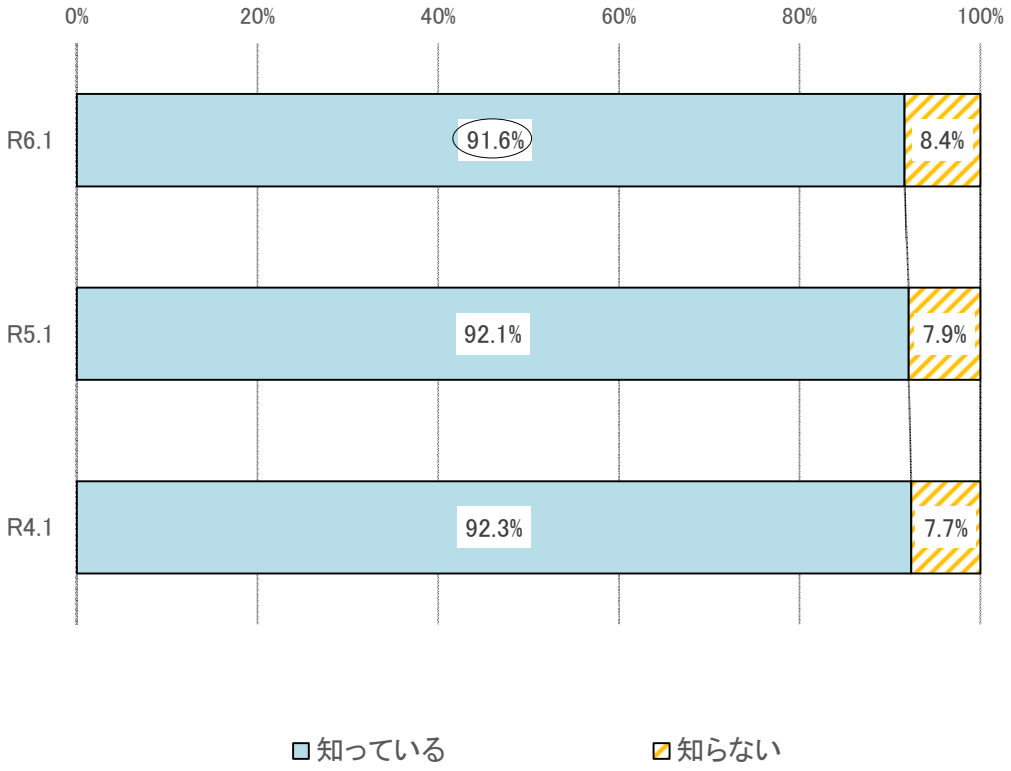
(1) 調査テーマ：防災に対する意識と取り組み
(2) 調査対象者：県民モニター2,568 人
(3) 調査期間：令和６年１月 17 日（水）
～1 月 29 日（月）［13 日間］
(4) 調査方法：web 上のアンケートフォームに入力
(5) 回答者数：1,846 人（回答率 71.9%）

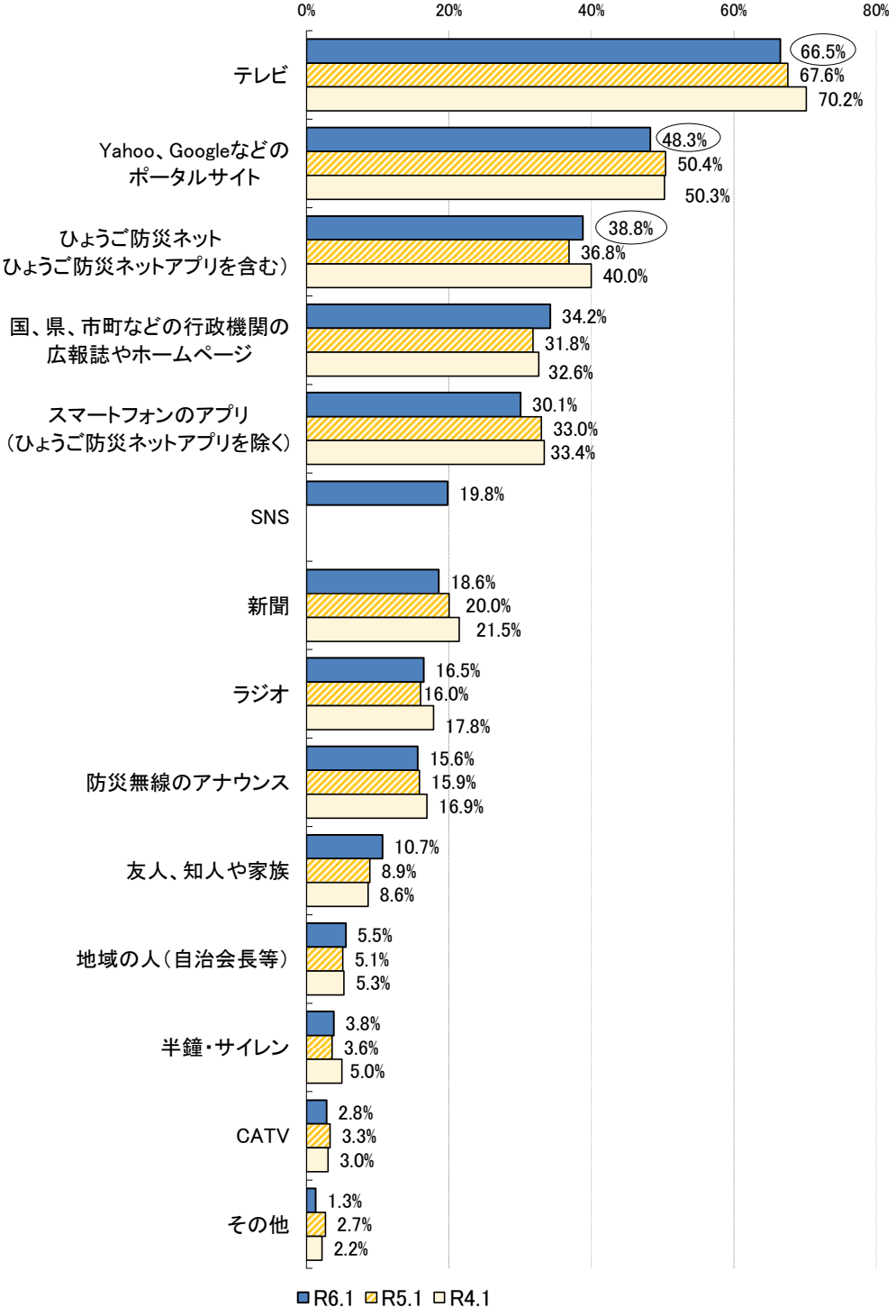
		対象者	回答者	回答率
総　数		2,568	1,846	71.9%
性別	男　性	1,116	832	74.6%
	女　性	1,445	1,009	69.8%
	不　明	7	5	71.4%
年代別	10～20 代	108	59	54.6%
	30 代	268	165	61.6%
	40 代	471	320	67.9%
	50 代	568	425	74.8%
	60 代	559	437	78.2%
	70 代以上	594	440	74.1%

２　調査結果の概要

項目	アンケート結果
居住地域の災害に対するリスク認識 Q1 あなたが住んでいる地域は、自然災害（地震、津波、土砂災害、洪水等の災害）に対して安全だと思いますか。 （1 つ選択）	住んでいる地域が、自然災害に対して『安全だと思う』人の合計は 68.8%で、前回より 0.8 ポイント減少している。 

項目	アンケート結果
「兵庫県ＣＧハザードマップ」の認知度 Q2 あなたは「兵庫県 CG ハザードマップ」を知っていますか。 （1 つ選択）	兵庫県ＣＧハザードマップを『見たことがある』人の合計は 67.2%で、前回より 6.4 ポイント増加している。実際に活用している人は 26.3%で、前回より 1.3 ポイント増加している。 
「兵庫県ＣＧハザードマップ」の評価 Q3 掲載情報（内容）、操作方法（使いやすさ、見やすさ）はどのように感じましたか。 （1 つ選択） ※[Q2]で「見て、災害に備えて、身のまわりの災害による危険箇所などを確認している」、「見たことはある」と回答した人 1,240 人（67.2%）に質問	「掲載情報、操作方法のどちらとも良い」が 55.8%で、前回より 0.9 ポイント減少しているが、半数を超えている。 

項目	アンケート結果
避難場所の認知度 Q4 お住まいの地区で指定された避難場所を知っていますか。 （1 つ選択）	地区で指定された避難場所について、「知っている」人は 91.6%で、9 割を超えている。 

項目	アンケート結果
防災情報の入手方法 Q5 あなたは、気象情報やハザードマップなどの防災に関する情報を平常時や台風の接近など危険が近づきつつある時にどちらから入手されていますか。 （いくつでも選択可）	「テレビ（66.5%）」が最も多く、次いで「Yahoo、Google などのポータルサイト（48.3%）」、「ひょうご防災ネット（38.8%）」となっている。 

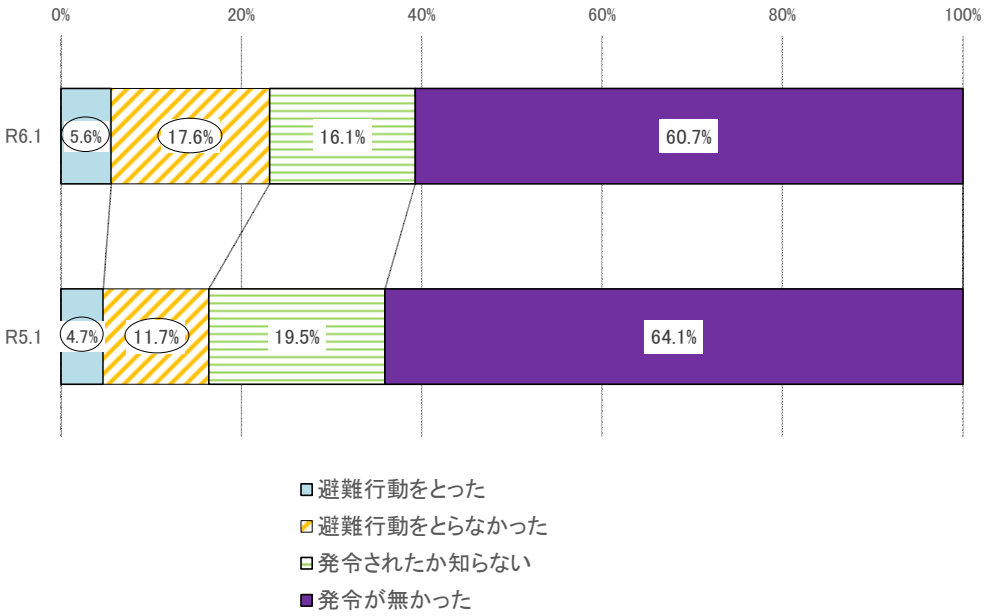
項目	アンケート結果

年代別では「新聞」、「テレビ」は、年代が上がるにつれて多くなっている一方、「Yahoo・Google などのポータルサイト」「SNS」は、年代が若くなるほど多くなる傾向にある。

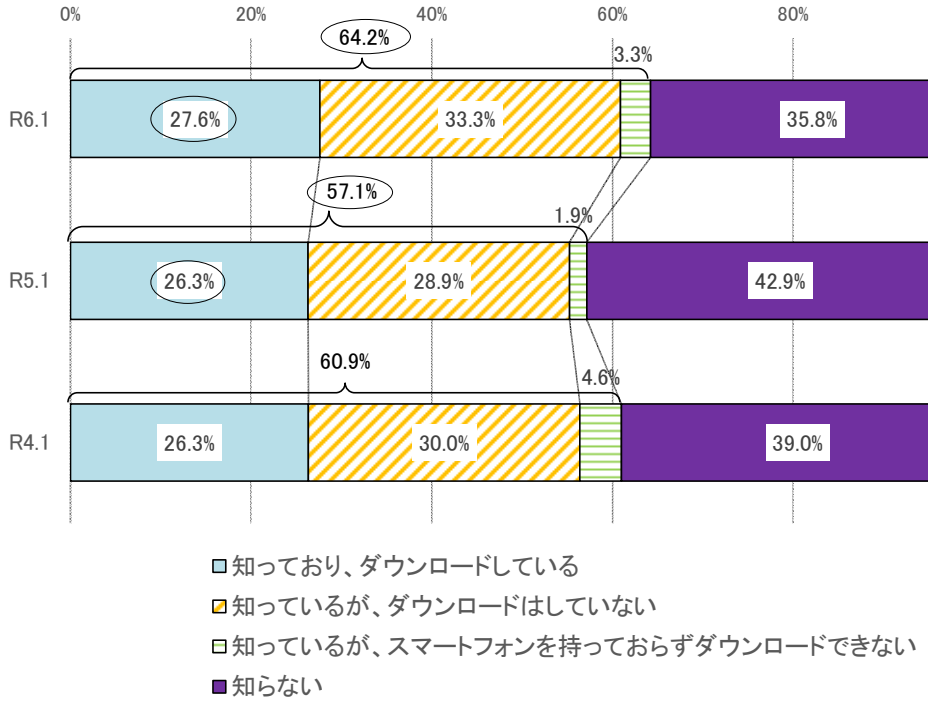
年代間での差が最も多かったのは「新聞」で、最も少ない 30 代が 7.3%であるのに対し、最も多い 80 代以上は 55.8%とその差は 48.5%であった。

最大値　最小値　(%)

		ひょうご防災ネット（ひょうご防災ネットアプリを含む）	国、県、市町などの行政機関の広報誌やホームページ	Yahoo、Google などのポータルサイト	スマートフォンのアプリ（ひょうご防災ネットアプリを除く）	SNS	新聞	テレビ	CATV	ラジオ	友人、知人や家族	地域の人（自治会長等）	防災無線のアナウンス	半鐘・サイレン	その他
合　計		38.8	34.2	48.3	30.1	19.8	18.6	66.5	2.8	16.5	10.7	5.5	15.6	3.8	1.3
年代別	10・20代	23.7	30.5	55.9	30.5	54.2	11.9	52.5	0.0	8.5	23.7	3.4	16.9	8.5	0.0
	30代	33.3	41.8	64.8	20.0	34.5	7.3	49.7	0.0	10.3	17.0	6.1	13.9	5.5	0.0
	40代	38.8	35.0	59.1	27.5	22.2	10.0	55.0	1.3	10.9	12.2	3.8	14.1	3.8	2.5
	50代	44.2	33.2	53.4	31.3	23.3	16.9	64.2	2.6	16.2	9.6	3.3	16.2	3.8	1.2
	60代	40.0	34.1	43.0	30.9	14.2	14.6	69.1	3.2	14.6	8.2	5.0	14.4	2.1	1.6
	70代	37.4	31.3	36.8	35.9	10.7	29.9	81.7	3.8	24.3	9.0	8.4	17.1	3.5	0.9
	80代～	32.6	36.8	21.1	25.3	8.4	55.8	86.3	10.5	31.6	8.4	13.7	20.0	8.4	1.1
年代間の差		20.5	11.3	43.8	15.9	45.8	48.5	36.6	10.5	23.1	15.5	10.4	6.1	6.4	2.5

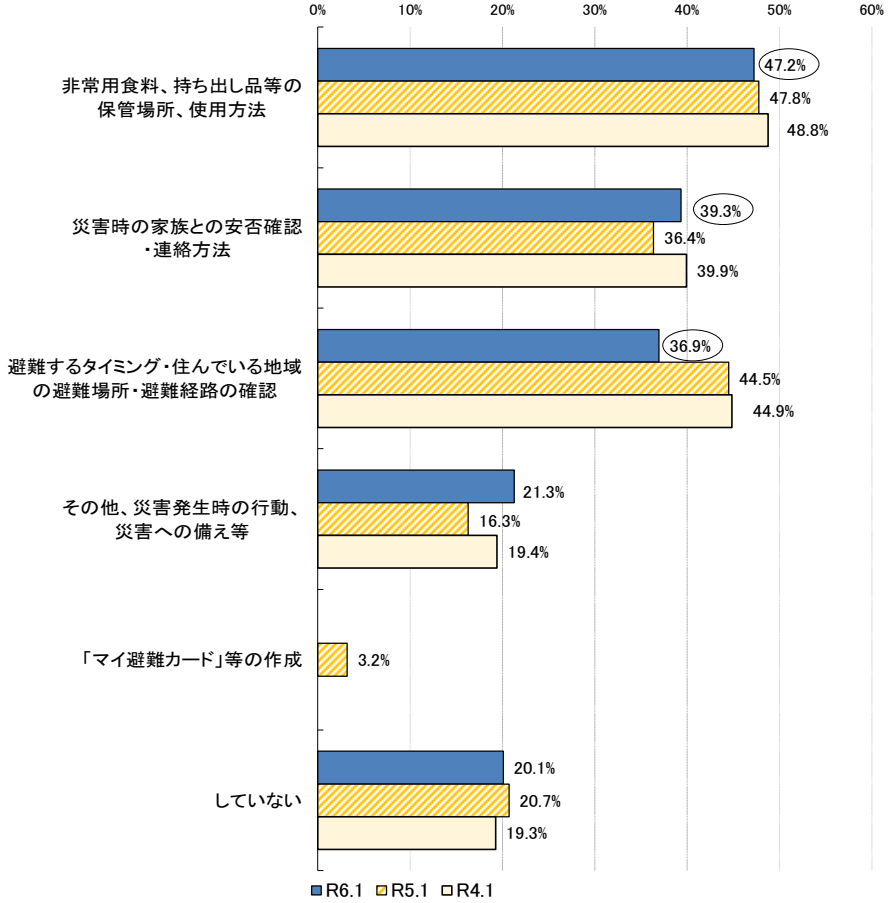
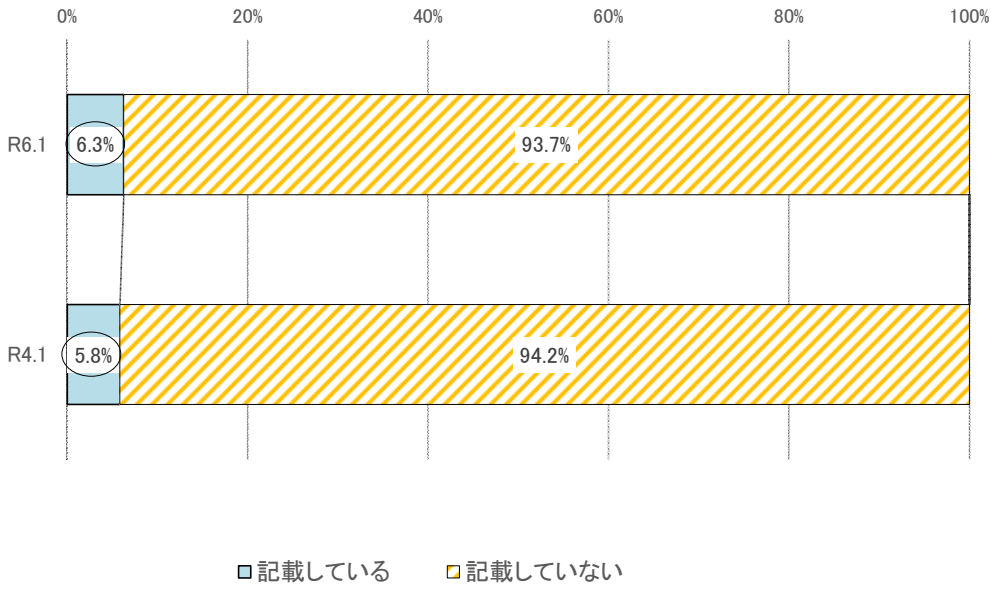
項目	アンケート結果
避難情報発令時の行動 Q6 この 1 年以内に市町から災害時の避難情報（高齢者等避難・避難指示）が発令された際に避難行動をとりましたか。 （1 つ選択）	「避難行動をとった」人は 5.6%で、前回より 0.9 ポイント増加しているが、「避難行動をとらなかった」人も 5.9 ポイント増加している。 

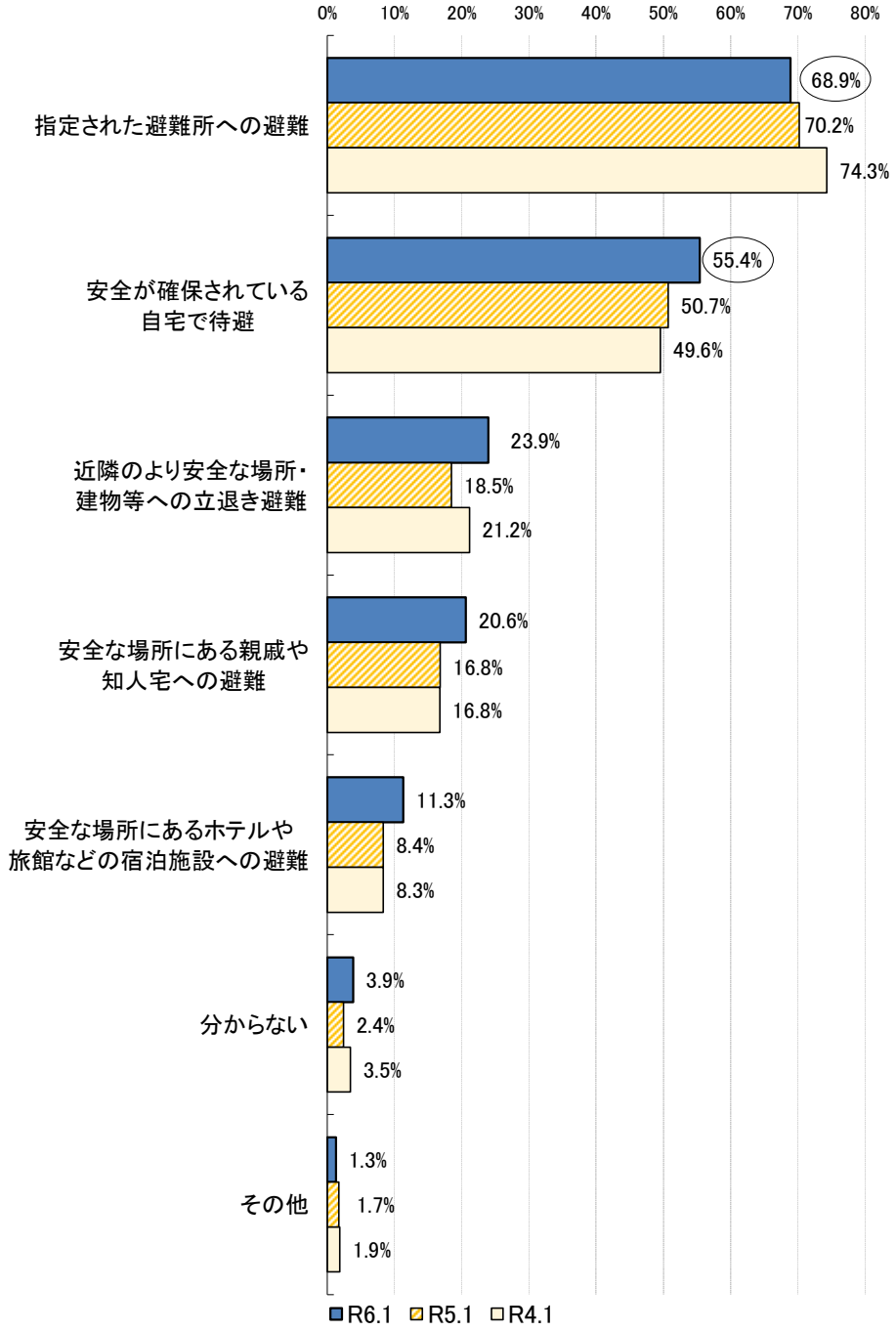
項目	アンケート結果
「ひょうご防災ネット」スマートフォン向けアプリの認知度 Q7 兵庫県では令和元年５月から「ひょうご防災ネット」スマートフォン向けアプリを運用しています。あなたは「ひょうご防災ネット」スマートフォン向けアプリを知っていますか。 （1 つ選択）	『知っている』人の合計は 64.2%で、前回より 7.1 ポイント増加している。ダウンロードしている人は 27.6%で、前回より 1.3 ポイント増加している。 年代別では「知っており、ダウンロードしている」は 10・20 代が最も少なく、年代が上がるにつれて多くなる傾向であった。「知らない」は最も多い 10・20 代（67.8%）と最も少ない 70 代（24.9%）で年代間の差が 42.9%あった。

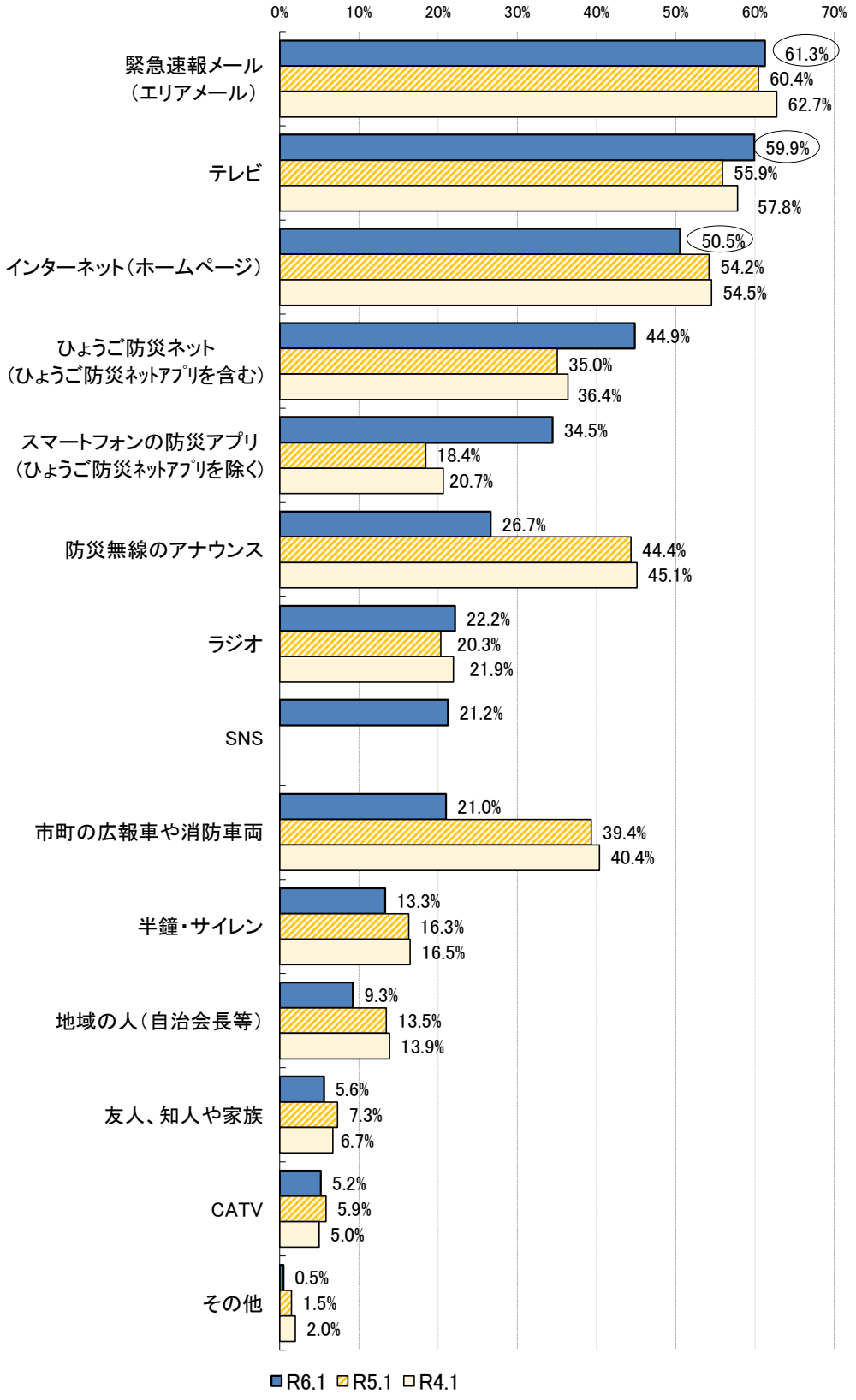


最大値　　最小値　　(%)

		知っており、ダウンロードしている	知っているが、ダウンロードはしていない	知っているが、スマートフォンを持っておらずダウンロードできない	知らない
合　計		27.6	33.3	3.3	35.8
年代別	10・20代	3.4	27.1	1.7	67.8
	30代	9.7	29.1	1.2	60.0
	40代	21.3	35.0	1.9	41.9
	50代	30.4	33.4	1.9	34.4
	60代	33.9	34.6	3.2	28.4
	70代	35.7	32.8	6.7	24.9
	80代～	25.3	33.7	7.4	33.7
年代間の差		32.3	7.9	6.2	42.9

項目	アンケート結果
災害に備えた家族での話し合い Q8 あなたの家では、災害に備え、普段からどのようなことについて、家族で話し合いをしていますか。 （いくつでも選択可）	「非常用食料、持ち出し品等の保管場所、使用方法（47.2%）」が最も多く、次いで「災害時の家族との安否確認・連絡方法（39.3%）」、「避難するタイミング・住んでいる地域の避難場所・避難経路の確認（36.9%）」が続いている。 
災害時の避難行動について、マイ避難カード等の紙面に記載の有無 Q9 あなたは、災害時の「避難行動に移るタイミング（逃げ時）」「避難先」「避難経路」について、あらかじめ検討し、マイ避難カード等の紙面等に記載していますか。 （1つ選択）	マイ避難カード等の紙面に「記載している」人は6.3%と、前回（R4.1）より0.5ポイント増加している。 

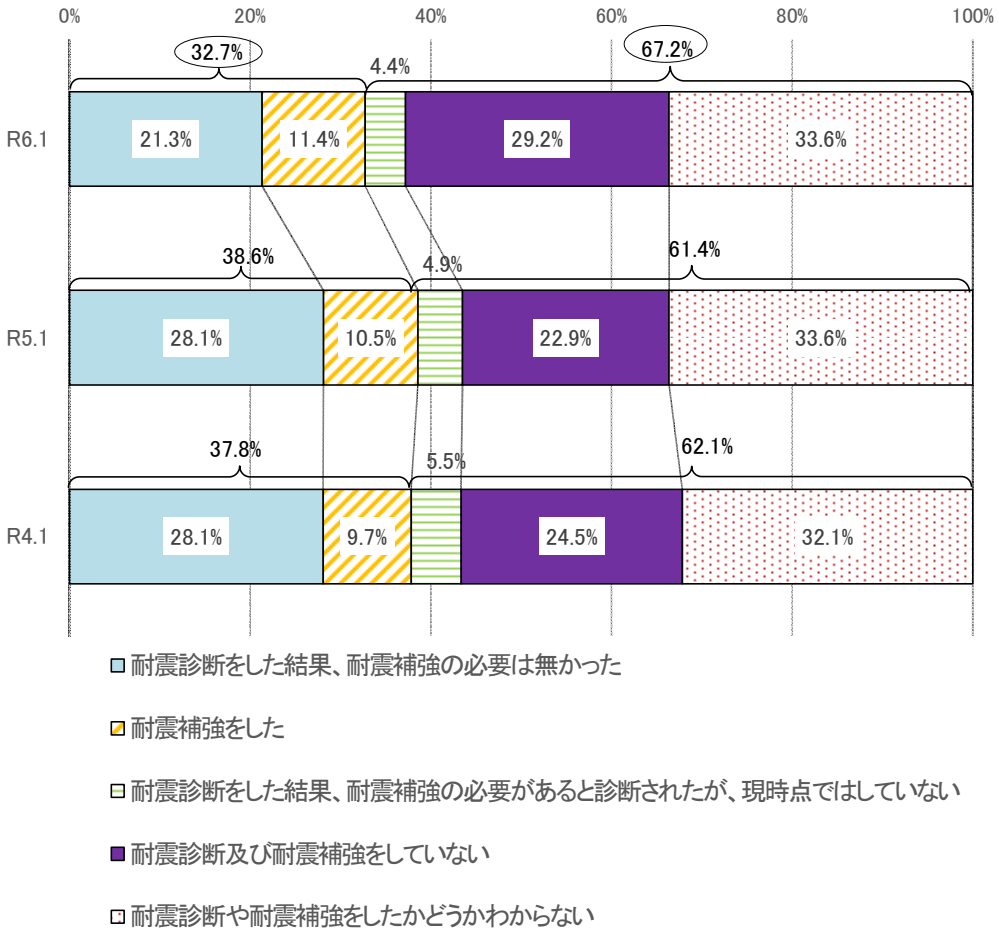
項目	アンケート結果
検討している避難先 Q10 あなたが検討している避難先について、あてはまるものを次の中からお選びください。 （いくつでも選択可）	「指定された避難所への避難（68.9%）」が最も多く、次いで「安全が確保されている自宅で待避（55.4%）」が続いている。 

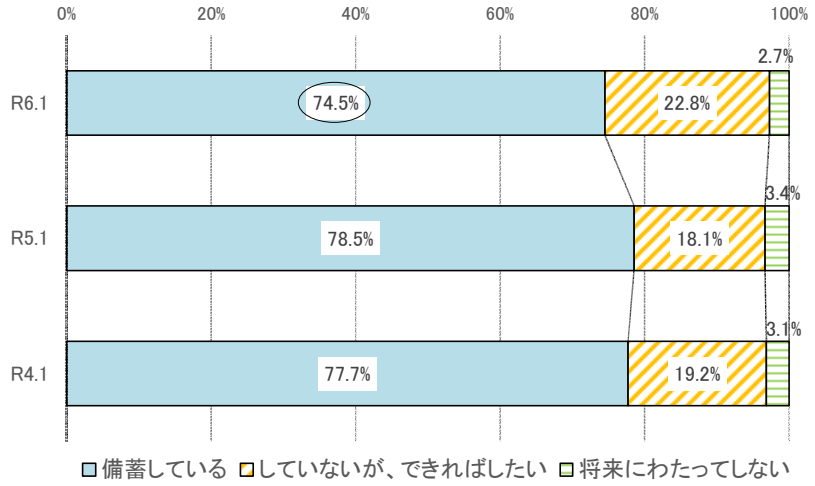
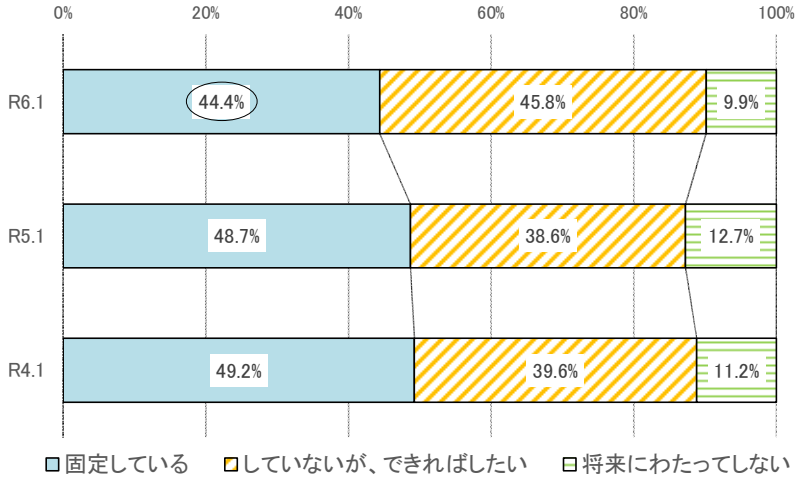
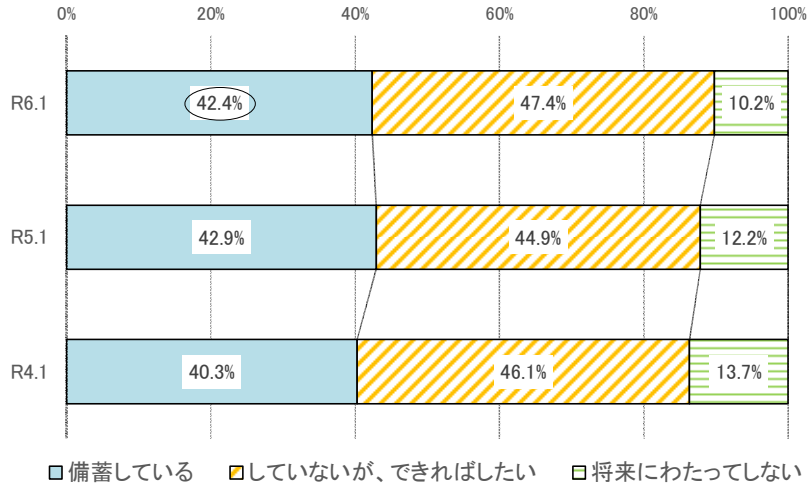
項目	アンケート結果
避難情報を提供して欲しい手段 Q11 あなたは、災害時の避難情報（「高齢者等避難」・「避難指示」）について、その情報をどのような手段で提供して欲しいですか。 （いくつでも選択可）	「緊急速報[エリアメール]（61.3%）」が最も多く、次いで「テレビ（59.9%）」、「インターネット[ホームページ]（50.5%）」が続いている。 

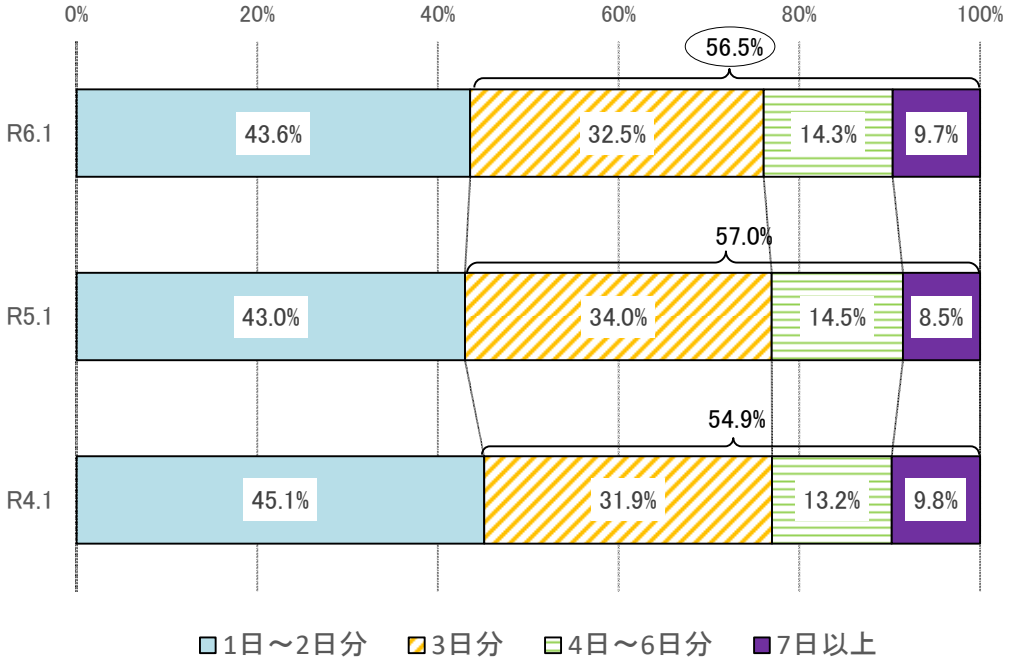
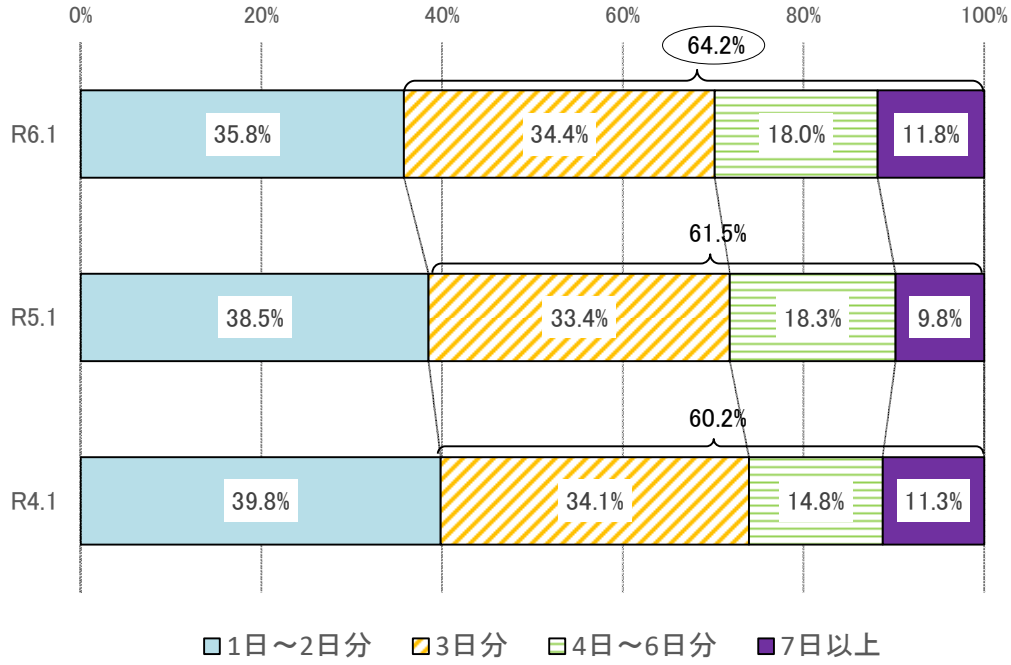
項目	アンケート結果
	年代間での差が最も多かったのは「SNS」で、最も少ない 80 代以上が 5.3%であるのに対し、最も多い 10・20 代は 62.7%とその差は 57.4%であった。

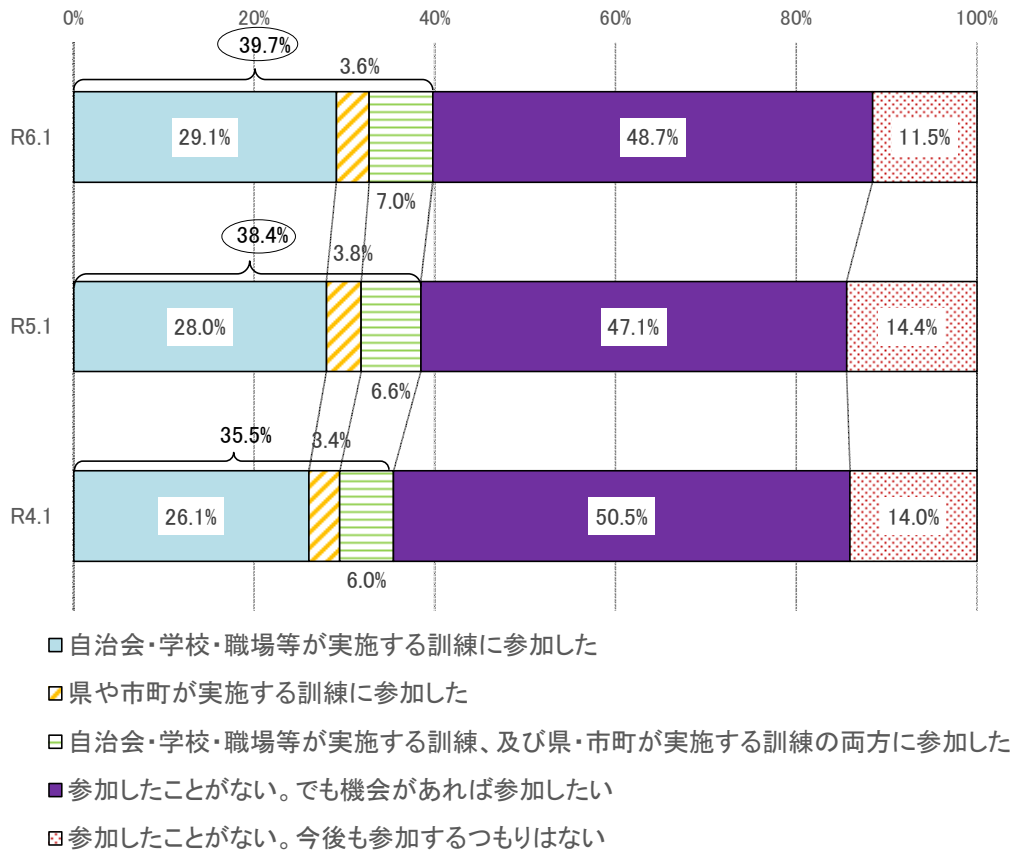
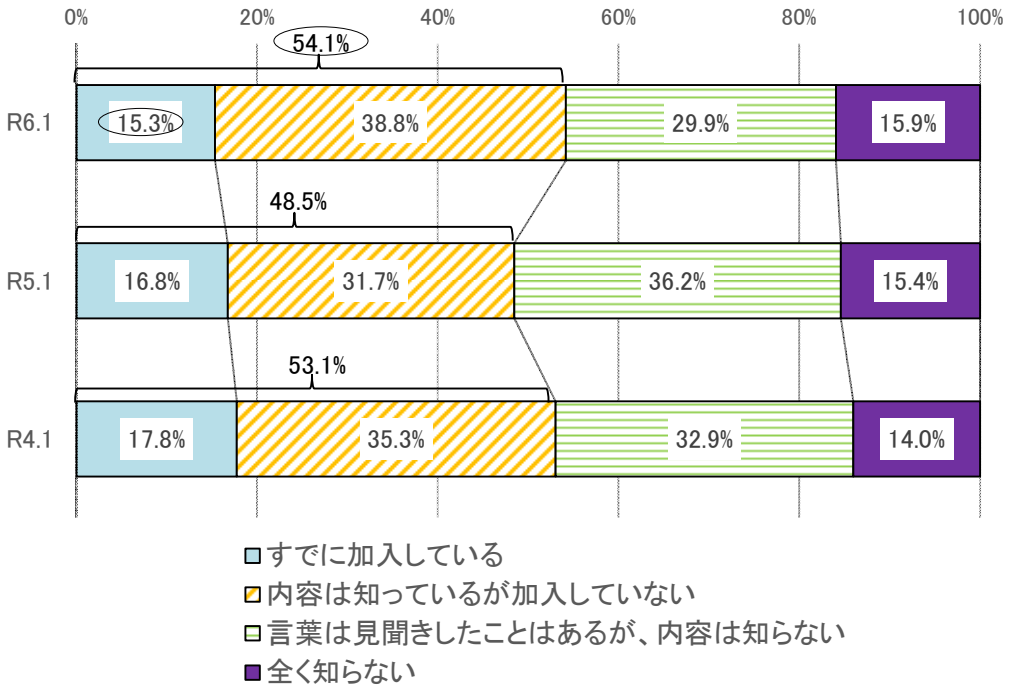
最大値　最小値　(%)

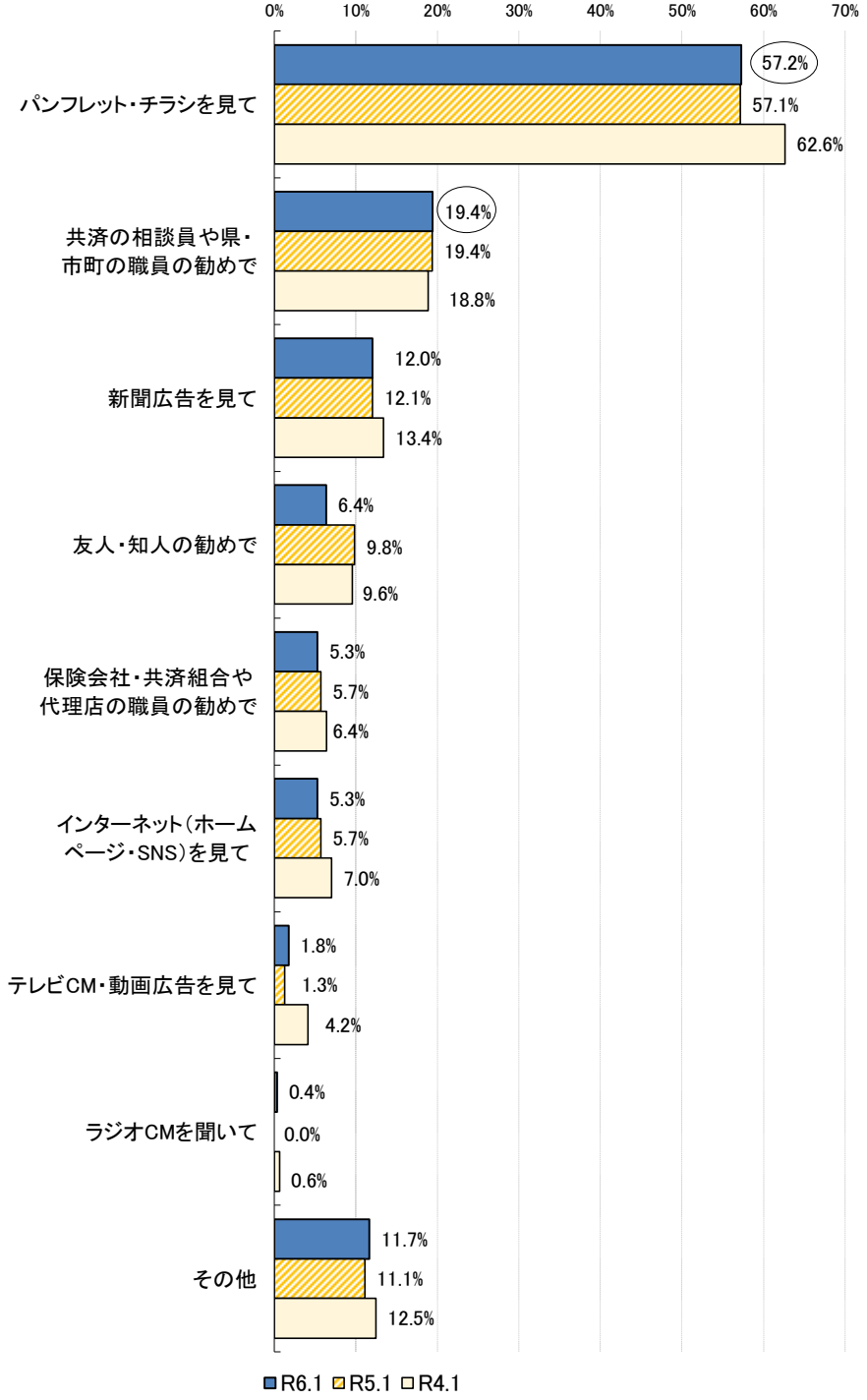
		ひょうご防災ネット（ひょうご防災ネットアプリを含む）	インターネット（ホームページ）	スマートフォンの防災アプリ（ひょうご防災ネットアプリを除く）	SNS	緊急速報メール（エリアメール）	テレビ	CATV	ラジオ	友人、知人や家族	地域の人（自治会長等）	防災無線のアナウンス	市町の広報車や消防車両	半鐘・サイレン	その他
合　計		44.9	50.5	34.5	21.2	61.3	59.9	5.2	22.2	5.6	9.3	26.7	21.0	13.3	0.5
年代別	10・20代	33.9	54.2	27.1	62.7	49.2	54.2	3.4	15.3	8.5	5.1	28.8	11.9	15.3	0.0
	30代	40.6	73.3	27.3	42.4	61.8	54.5	3.0	20.6	7.9	6.7	25.5	15.8	12.1	0.6
	40代	45.9	56.9	28.1	25.0	61.3	50.6	3.8	15.9	5.9	6.6	27.2	17.5	14.1	0.9
	50代	50.6	53.9	35.1	24.2	66.4	57.2	5.9	21.6	5.6	7.8	28.7	19.5	15.1	0.7
	60代	45.3	42.1	38.4	14.2	63.4	57.0	5.9	19.7	4.6	8.5	25.4	22.4	10.3	0.5
	70代	43.2	41.4	38.0	10.1	61.4	74.5	4.6	29.9	4.3	13.0	25.2	24.1	12.8	0.0
	80代～	33.7	44.2	38.9	5.3	34.7	76.8	10.5	35.8	7.4	22.1	27.4	36.8	20.0	0.0
年代間の差		16.9	31.9	11.8	57.4	31.7	26.2	7.5	20.5	4.2	17.0	3.6	24.9	9.7	0.9

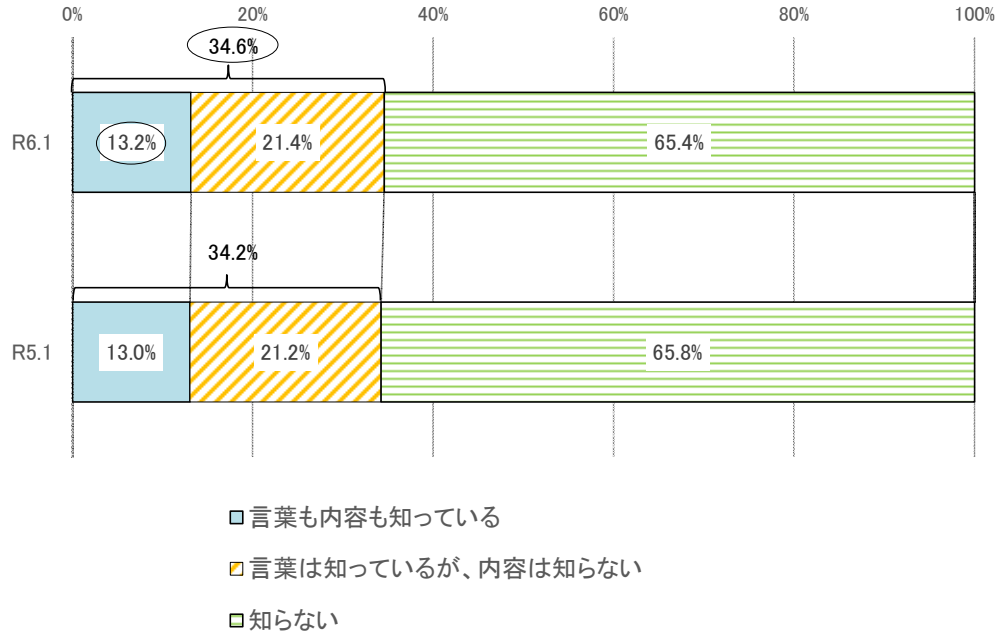
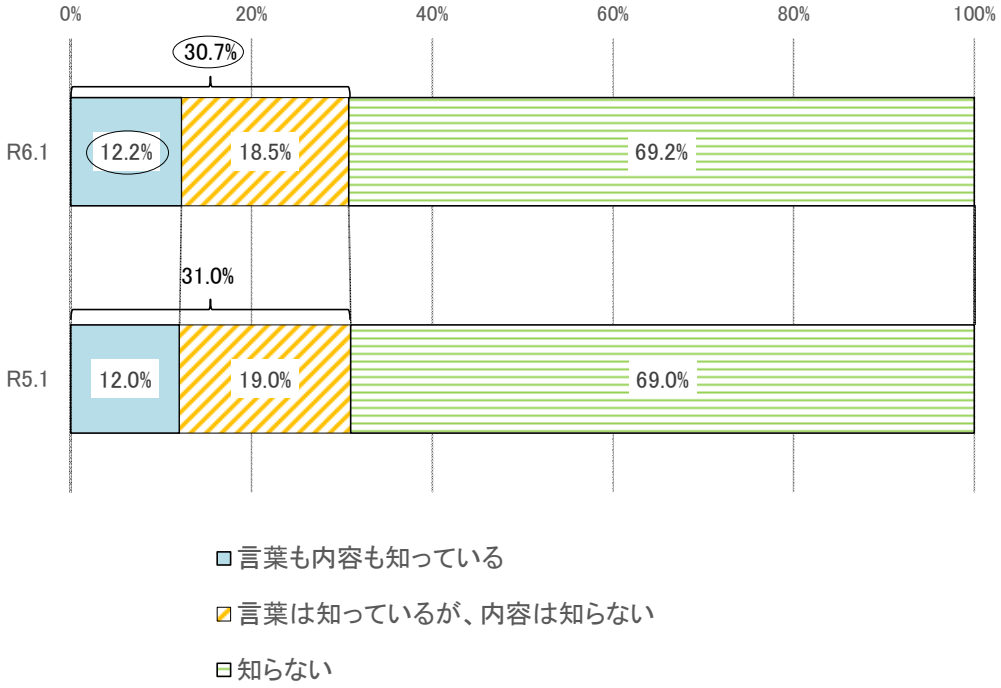
項目	アンケート結果
耐震診断・耐震補強の実施状況 Q12 あなたは、耐震診断又は耐震補強をしましたか。 （1 つ選択） ※住んでいる戸建て住宅・マンション等（木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造住宅にかかわらず。賃貸除く。）が、昭和56年5月以前に建築された人 675 人（36.6%）が回答	『耐震補強をした（耐震補強をする必要がなかった）』人の合計は 32.7%であった一方、『耐震補強をしていない（したかどうかわからない）』人の合計は 67.2%であった。 

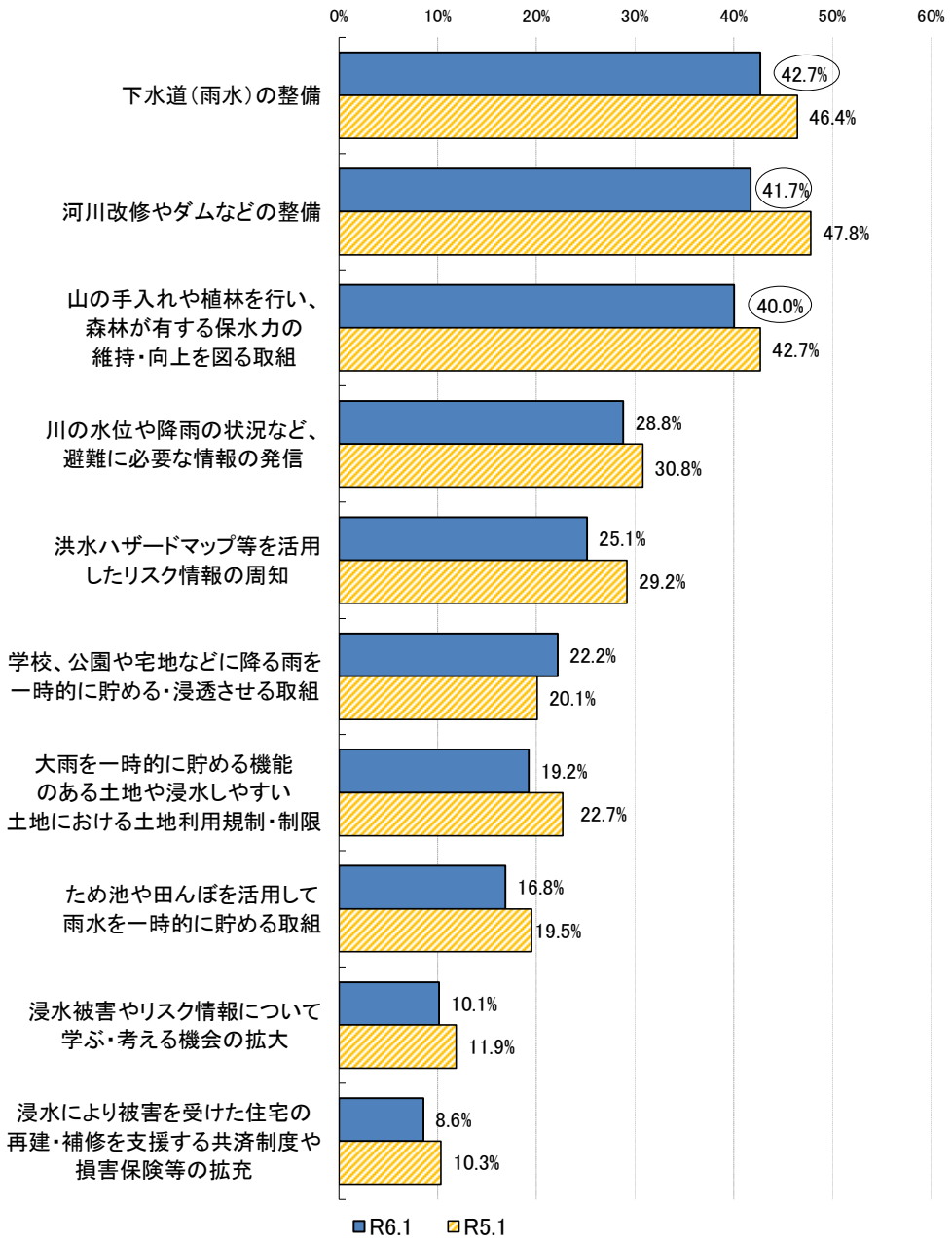
項目	アンケート結果
災害への備え Q13 あなたが災害に備えてしていること、現時点ではしていないが、できればしたいと思っていることについて、あてはまるものを次の中からお選びください。 （それぞれ１つ選択）	「飲料水や食料品の備蓄」をしている人（74.5%）が最も多く、次いで「家具等の固定」をしている人（44.4%）、「携帯トイレやトイレ用凝固剤の備蓄」をしている人（42.4%）となっている。 【飲料水や食料品の備蓄】  【家具等の固定】  【携帯トイレやトイレ用凝固剤の備蓄】 

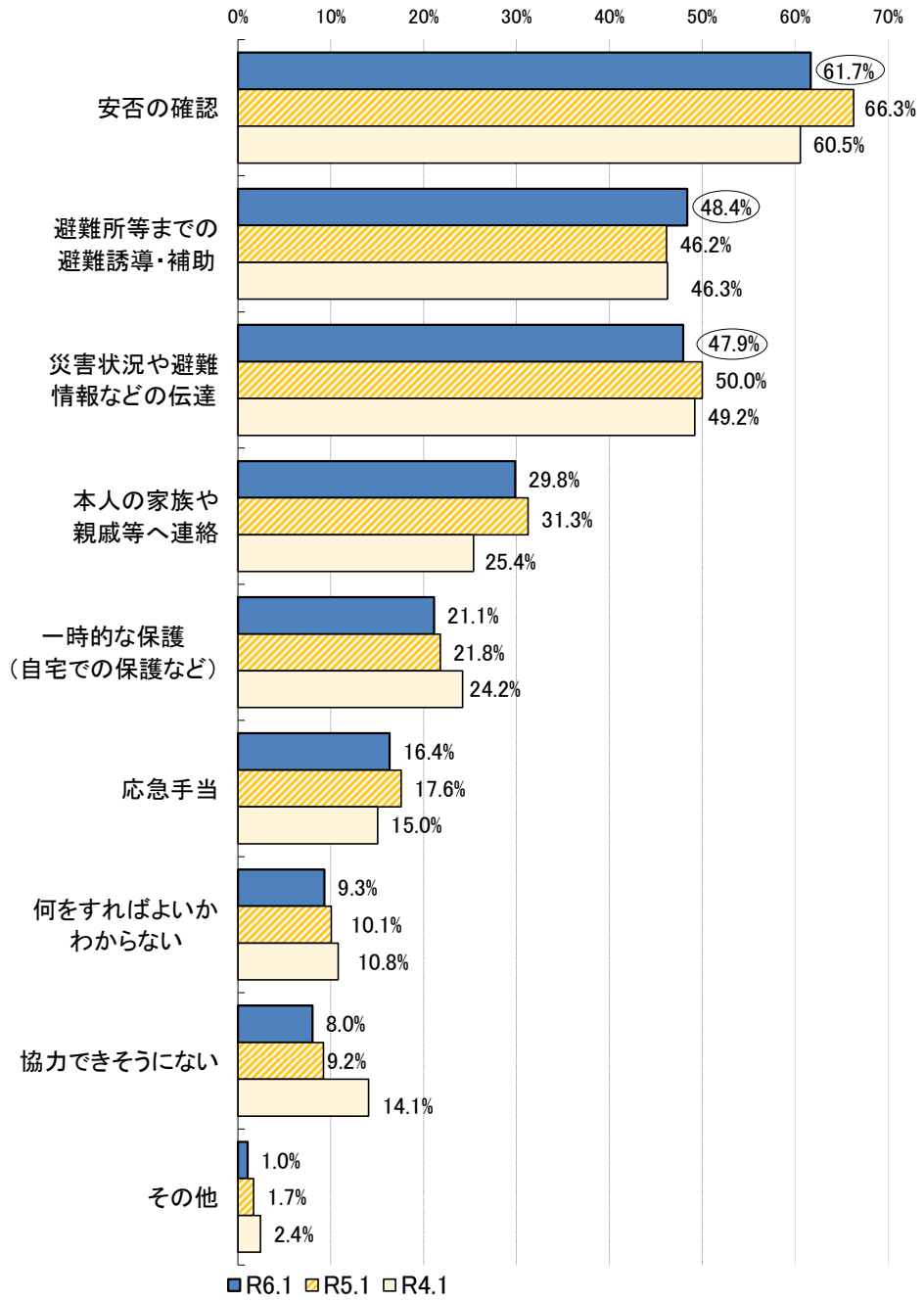
項目	アンケート結果
飲料水や食料品の備蓄 Q14 家庭での備蓄は何日分ですか。 （【飲料水】と【食料品】それぞれ 1 つ選択） ※[Q13]で「飲料水や食料品の備蓄をしている」と回答した人 1,375 人（74.5%）に質問	飲料水や食料品の備蓄をしている人は、ともに「1～2 日分」が最も多くなっている。また、3 日分以上備蓄している人は約 6 割となっている。 【飲料水】  【食料品】 

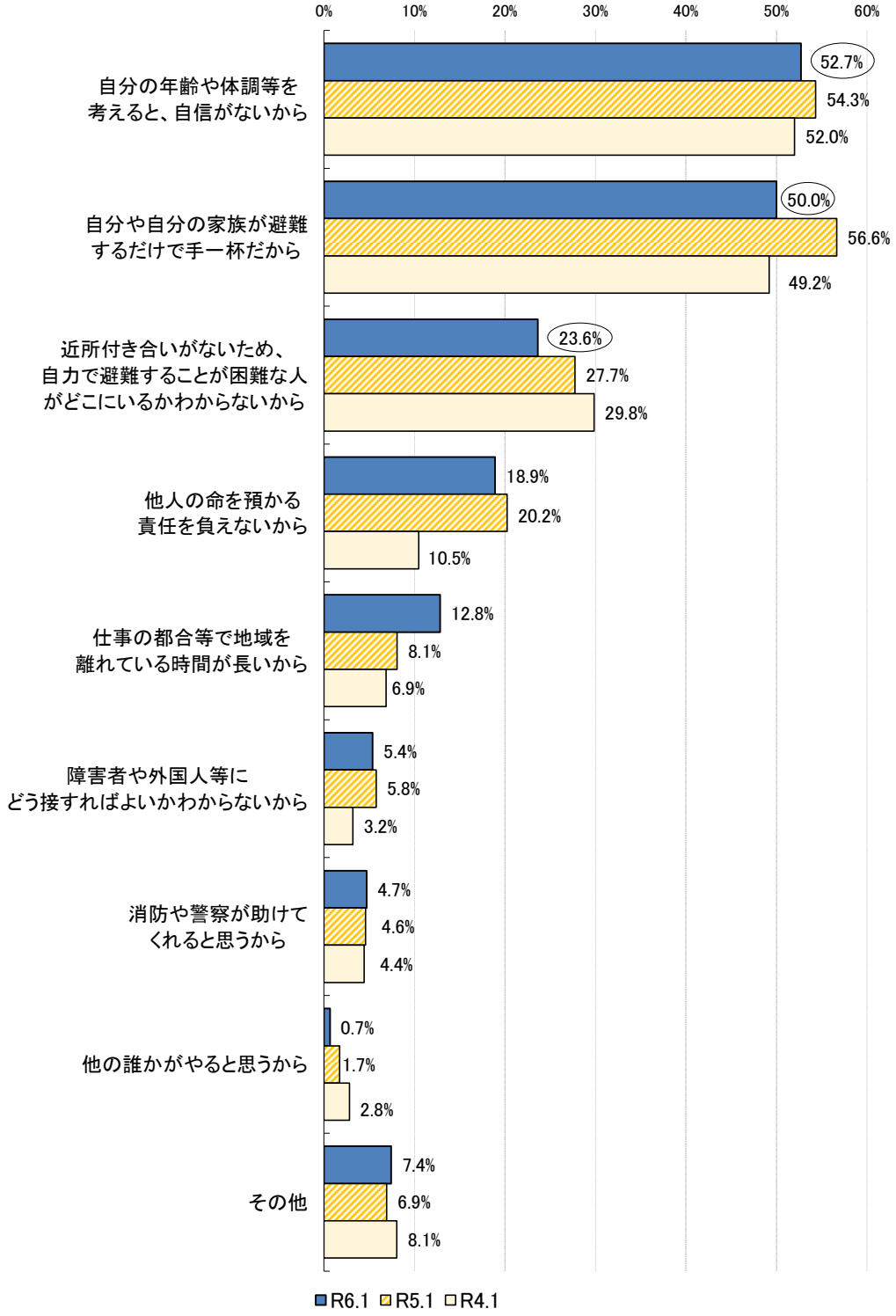
項目	アンケート結果
防災訓練への参加（最近１年以内） Q15 あなたは、この１年の間に県や市町、自治会などが行った自然災害に対する防災訓練に参加したことがありますか。 （1 つ選択）	この１年間に自治会や県等が主催する防災訓練に『参加した』人は 39.7%で、前回より 1.3 ポイント増加している。 
兵庫県住宅再建共済制度の認知度 Q16 あなたは、兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）を知っていますか。 （1 つ選択）	「すでに加入している」人は 15.3%で、加入している人も含めた『知っている』人は半数を超えている（54.1%）。 

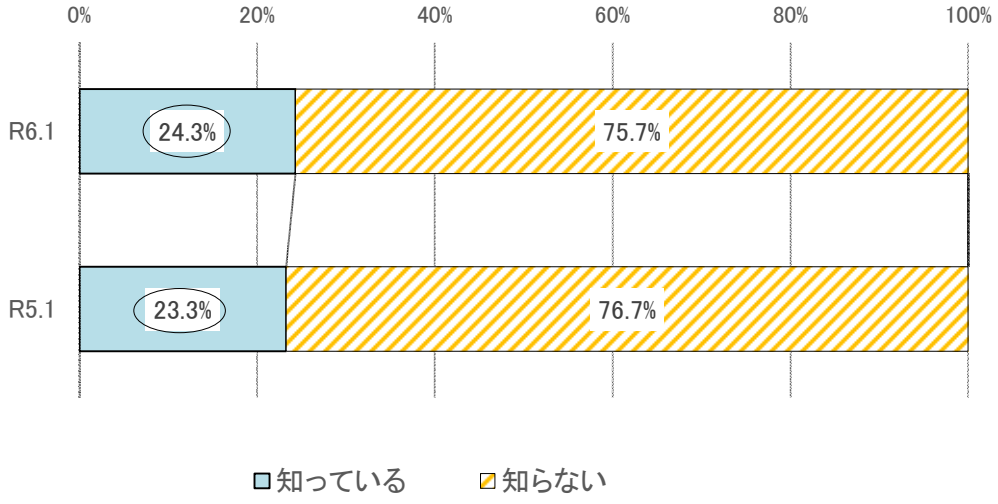
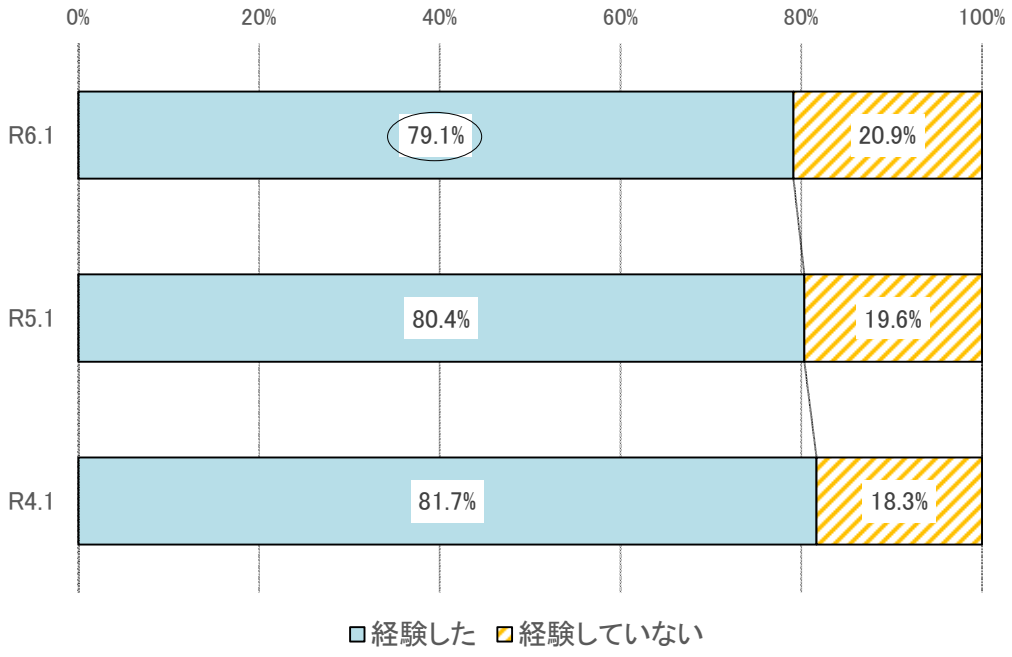
項目	アンケート結果
兵庫県住宅再建共済制度の加入起因 Q17 加入のきっかけになったのは何でしたか。 （いくつでも選択可） ※[Q16]で「すでに加入している」と回答した人 283 人（15.3%）に質問	兵庫県住宅再建共済制度へ加入するきっかけについて、「パンフレット・チラシを見て（57.2%）が最も多く、次いで「共済の相談員や県・市町の職員の勧めで（19.4%）」が続いている。 

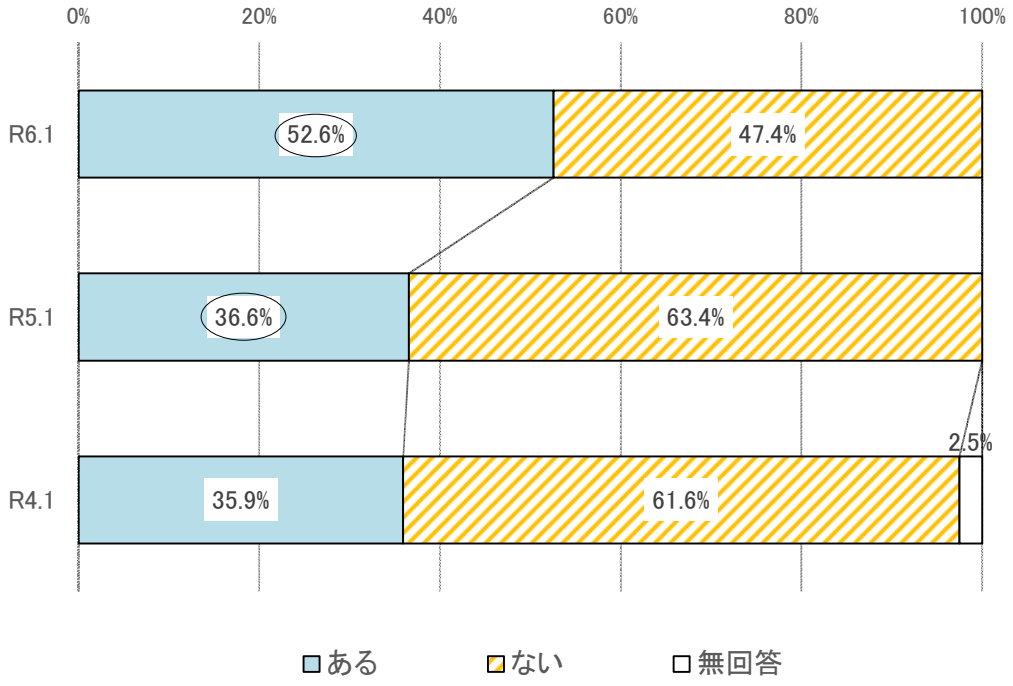
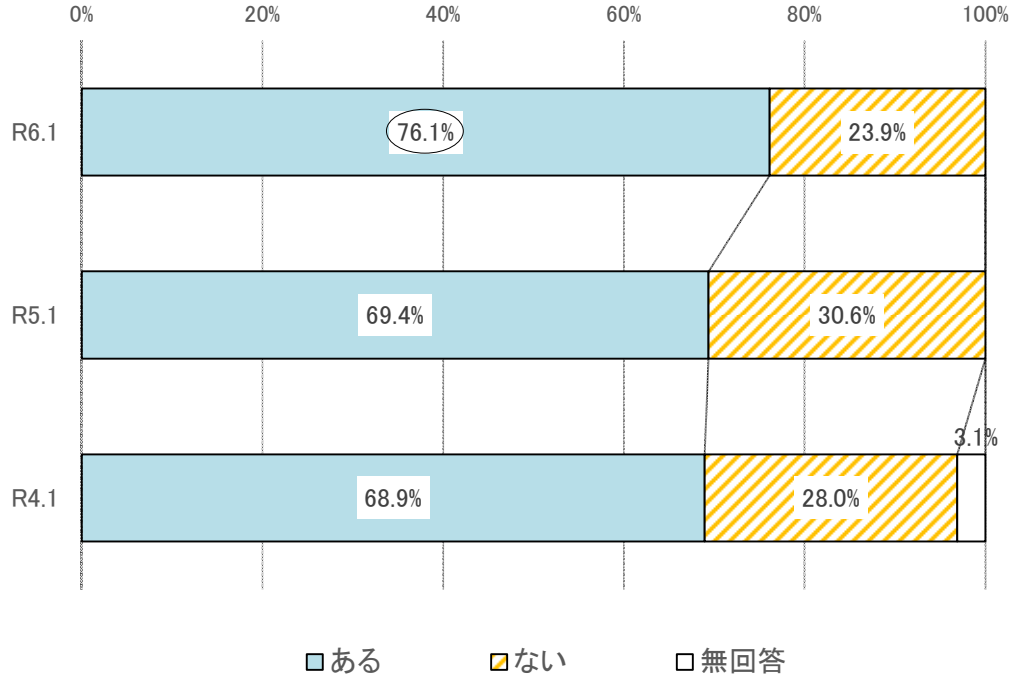
項目	アンケート結果
総合治水・流域治水の認知度 Q18 県では平成 24 年に「総合治水条例」を施行しました。「総合治水」及び「流域治水」とは、どのような取組か知っていますか。 （それぞれ 1 つ選択）	『知っている』人は、総合治水（34.6%）、流域治水（30.7%）ともに 3 割程度であった。「言葉も内容も知っている」人は、総合治水（13.2%）、流域治水（12.2%）ともに 1 割程度に留まった。 【総合治水】  【流域治水】 

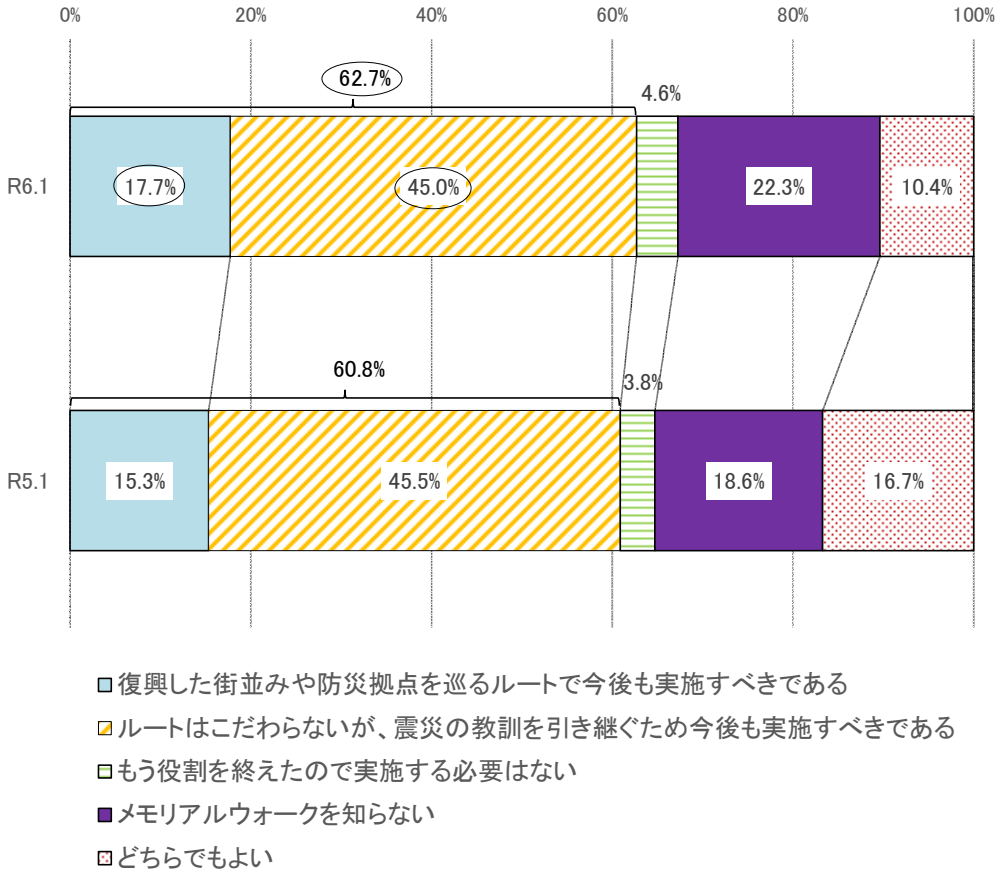
項目	アンケート結果
水害減災のために優先すべき対策 Q19 水害による被害を軽減するため、今後どのような対策を優先すべきと考えますか。次の中からお選びください。 （3つまで選択可）	「下水道（雨水）の整備（42.7%）」が最も多く、次いで「河川改修やダムなどの整備（41.7%）」、「山の手入れや植林を行い、森林が有する保水力の維持・向上を図る取組（40.0%）」が続いている。 

項目	アンケート結果
要配慮者の避難への協力 Q20 地震や豪雨などの災害が発生したときに、あなたの近所に住んでいる高齢者、障害者、妊産婦、外国人など、自力で避難することが困難な人（あなたの家族を除く）に対して、あなたはどのような協力ができそうだと思いますか。 （いくつでも選択可）	「安否の確認（61.7%）」が最も多く、次いで「避難所等までの避難誘導・補助（48.4%）」、「災害状況や避難情報などの伝達（47.9%）」が続いている。 

項目	アンケート結果
要配慮者の避難への協力ができない理由 Q21 あなたが協力できそうにないのはどのような理由からですか。 （いくつでも選択可） ※[Q20]で「協力できそうにない」と回答した人 148 人（8.0%）に質問	「自分の年齢や体調等を考えると自信がないから（52.7%）」が最も多く、次いで「自分や自分の家族が避難するだけで手一杯だから（50.0%）」、「近所付き合いがないため、自力で避難することが困難な人がどこにいるかわからないから（23.6%）」が続いている。 

項目	アンケート結果
「個別避難計画」の認知度 Q22 あなたは、高齢者等のうち自力で避難することが困難な人について、あらかじめ、避難先や避難を手伝う人等を地域で決めて計画を立てておく「個別避難計画」を知っていますか。 （1 つ選択）	「知っている」人は 24.3%で、「知らない」人の 75.7%を大幅に下回った。 
阪神・淡路大震災の経験の有無 Q23 令和 6 年 1 月 17 日に阪神・淡路大震災から 29 年目を迎えます。あなたは阪神・淡路大震災を経験されましたか。 （1 つ選択）	「経験した」人は、約 8 割（79.1%）となっている。 

項目	アンケート結果
阪神・淡路大震災の経験等を後世につなぐ行動の有無（経験者） Q24 その経験や教訓を後世につないでいくための行動をされたことがありますか。 （1 つ選択） ※[Q23]で「経験した」と回答した人 1,461 人（79.1%）に質問	阪神・淡路大震災を経験した人のうち、その経験・教訓を後世につないでいくための行動をしたことがある人は 52.6%で、前回より 16.0 ポイント増加している。 
阪神・淡路大震災の経験等を学んだ機会の有無（未経験者） Q25 これまで阪神・淡路大震災の経験や教訓を具体的に学ぶ機会がありましたか。 （1 つ選択） ※[Q23]で「経験していない」と回答した人 385 人（20.9%）に質問	阪神・淡路大震災を経験していない人のうち、その経験・教訓を学んだことがある人は 76.1%となっている。 

項目	アンケート結果
メモリアルウォーク実施の必要性 Q26 阪神・淡路大震災の教訓を引き継ぐため「ひょうご安全の日」に実施している「1.17 ひょうごメモリアルウォーク」についてどのように思いますか。 （1 つ選択）	「復興した街並みや防災拠点を巡るルートで今後も実施すべきである（17.7%）」と「ルートはこだわらないが、震災の教訓を引き継ぐため今後も実施すべきである（45.0%）」を合わせた『実施すべきである』と回答した人は 62.7%であった。 

※ 報告書中の数字は、四捨五入による端数を調整していないため、内訳と計は必ずしも一致しない。

【 問い合わせ先 】総務部広報広聴課　（TEL078-362-3022）

（参考）令和５年度県民モニター調査実績

○令和５年度調査実績

回	調査テーマ	調査期間	回答率
第１回	介護に関する意識	６月 ２日(金)～ ６月 12 日(月)	76.6%
第２回	受動喫煙対策について	７月 ７日(金)～ ７月 17 日(月)	73.9%
第３回	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症に対する県民の意識や県が行った対策等について	９月 29 日(金)～10 月 ９日(月･祝)	73.0%
第４回	防災に対する意識と取り組み	１月 17 日(水)～ １月 29 日(月)	71.9%

○対象者及び回答者属性別実績

区分			第１回	第２回	第３回	第４回	４回とも回答した人数
総数		対象者(人)	2,384	2,407	2,490	2,568	1,258
		回答者(人)	1,826	1,779	1,817	1,846	
		回答率	76.6%	73.9%	73.0%	71.9%	
性別	男性	対象者(人)	1,047	1,063	1,093	1,116	604
		回答者(人)	831	815	820	832	
		回答率	79.4%	76.7%	75.0%	74.6%	
	女性	対象者(人)	1,333	1,339	1,391	1,445	652
		回答者(人)	992	960	992	1,009	
		回答率	74.4%	71.7%	71.3%	69.8%	
	不明	対象者(人)	4	5	6	7	2
		回答者(人)	3	4	5	5	
		回答率	75.0%	80.0%	83.3%	71.4%	
年代別	10～20 代	対象者(人)	84	86	100	108	21
		回答者(人)	45	46	47	59	
		回答率	53.6%	53.5%	47.0%	54.6%	
	30 代	対象者(人)	235	237	254	268	86
		回答者(人)	145	144	154	165	
		回答率	61.7%	60.8%	60.6%	61.6%	
	40 代	対象者(人)	426	433	457	471	185
		回答者(人)	303	294	302	320	
		回答率	71.1%	67.9%	66.1%	67.9%	
	50 代	対象者(人)	522	531	546	568	283
		回答者(人)	406	398	423	425	
		回答率	77.8%	75.0%	77.5%	74.8%	
	60 代	対象者(人)	536	537	543	559	324
		回答者(人)	446	430	430	437	
		回答率	83.2%	80.1%	79.2%	78.2%	
	70 代以上	対象者(人)	581	583	590	594	359
		回答者(人)	481	467	461	440	
		回答率	82.8%	80.1%	78.1%	74.1%	

○過去３年の実績

年度	回	調査テーマ	回答率
R4	第１回	観光について	74.3%
	第２回	福祉のまちづくりについて	73.1%
	第３回	がん対策について	71.9%
	第４回	防災に対する意識と取り組み	75.0%
R3	第１回	食の安全安心について	74.2%
	第２回	地域の安全安心について	73.2%
	第３回	ひょうごの温暖化対策について	69.0%
	第４回	防災に対する意識と取り組み	69.0%
R2	第１回	介護に関する意識	79.0%
	第２回	消費生活について	75.8%
	第３回	食の健康とたばこ	73.5%
	第４回	防災に対する意識と取り組み	71.3%